

辻彩奈&阪田知樹

デュオ・リサイタル

令和4年

7/23^土

15:00 開演 / 14:15 開場

文翔館 議場ホール

5月25日(水) チケット発売

入場料(全席自由)

一般:3,200円/【当日券】3,700円
高校生以下:1,600円/【当日券】1,900円

当日券は残席がある場合のみ販売します。
未就学児のご入場はご遠慮ください。
臨時託児所をご利用ください。
(無料/要予約/一歳以上の未就学児対象)

【チケット取扱】

文翔館・辻楽器店・富岡本店・ハ文字屋本店POOL・
ローソンチケット【Lコード:21319】・
チケットぴあ【Pコード:215-384】・e+

プログラム

JSバッチ:G線上のアリア

シューベルト:ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ

第1番 ニ長調 D384 Op.137-1

ストラヴィンスキー:イタリア組曲

クララ・シューマン:3つのロマンス Op.22

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ

第2番 イ長調 Op.100

※曲目・曲順は予告なく変更になる場合がございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い

- 体調が優れない方はご来場をお控えください。
- マスクは常時ご着用ください。
- 検温・手指消毒にご協力ください。
- 予めチケット半券にお名前・ご連絡先をご記入ください。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をご利用ください。

主催/山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団
お問合せ/文翔館 TEL 023-635-5500

※本公演の開催について変更が生じる場合には、文翔館HPに掲載いたします。また、開催変更の場合を除き、いかなる場合もチケットの払い戻しは行いません。



文翔館HPはこちら



令和4年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



辻 彩奈

ヴァイオリン

Ayana Tsuji [Violin]

1997年岐阜県生まれ。東京音楽大学卒業。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。3歳からスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。11歳で名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演後、モントリオール交響楽団、スイス・ロマンダ管弦楽団、ベトナム国立交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など多くの国内外のオーケストラと共演している。また室内楽では、チェロの堤剛、ピアノの江口玲、伊藤恵、阪田知樹、藤田真央、エマニュエル・シュトロッセの各氏らと共演している。2018年「第28回出光音楽賞」を受賞。これまでに小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まちは、原田幸一郎、レジス・バスキエの各氏に師事。2019年4月、ジョナサン・ノット指揮／スイス・ロマンダ管弦楽団とジュネーヴおよび日本にてツアーを実施し、その艶やかな音色と表現によって各方面から高い評価を得た。現在、東京音楽大学アーティストディプロマに特別特待奨学生として在籍中。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与のJoannes Baptista Guadagnini 1748である。

Tomoki Sakata [Piano]

阪田 知樹

ピアノ

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。2016年フランク・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、及び同大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学にて学士、修士首席修了、現在同大学院ソリスト課程に在籍。世界的ピアニストを輩出し続ける「コモ湖国際ピアノアカデミー」の最年少生徒として認められて以来、イタリアでも研鑽を積む。パウル・バドゥラスコダ氏に10年に亘り師事。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



国指定重要文化財 山形県旧県庁舎および県会議事堂

山形県郷土館「文翔館」

文翔館は創建から100年を超える歴史を持つ、山形県旧県庁舎および県会議事堂です。大正初期の煉瓦造公共建築として数少ない遺構で意匠的にもすぐれ、県庁舎と議事堂及びそれらを繋ぐ渡り廊下が一体となって保存されていることなどから、国の重要文化財に指定されました。また、文翔館のシンボルともいえる塔時計は、日本で現在稼働しているもののなかでは2番目に古く、5日に一度、手動で分銅を巻き上げることで時を刻み続けています。現在は、貴重な文化財として建物の保存・公開のほか、郷土についての常設展示コーナーを設けています。さらにはギャラリー、会議室、ホールの貸出を行うなど、多目的な文化施設として県民へ文化活動の場を提供しています。

旧県会議事堂（議場ホール）について

旧県会議事堂は煉瓦造2階建てで、当初から公会堂として広く市民にも利用できるよう建設されたため、議員席も固定席ではなく、県議会がない時は演奏会や講演会などに使用されていました。1986(昭和61)年からの保存復原工事では、かまぼこ型のヴォールト天井や左右の列柱、リノリウムの床、壁紙などが復原され、往時の華やかな雰囲気が蘇りました。現在では、県の公式行事やコンサート、結婚式など様々な場面で県民の皆様に親しまれています。

- 1877(明治10)年
山形県庁舎が完成
- 1883(明治16)年
山形県会議事堂が完成
- 1911(明治44)年
山形市北大火により両棟が焼失
- 1916(大正5)年
両棟が同地に再建(のちの「文翔館」)
- 1984(昭和59)年
国の重要文化財に指定
- 1986(昭和61)年
保存復原工事が開始
- 1995(平成7)年
山形県郷土館(愛称:文翔館)として開館
- 2016(平成28)年
創建100周年を迎える



～ご来場に際しご注意とお願い～

- 館内での飲食、敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- 床材保護のため、傷が付きやすい履物(ピンヒールやスパイク、下駄など)での入場はご遠慮ください。また、傘など床が濡れてしまう物のお持込はご遠慮ください。
- 床が平面のため、お席によっては舞台が見づらい場合がございます。何卒ご了承ください。
- ロビーやホワイエのような待合スペースがないため、開場時間までは旧県会議事堂(議場ホール)内への入館をお断りいたします。外には雨風を凌げる場所がございませんので、十分な防寒・暑さ対策のうえご来館ください。開館時間(9:00～16:30)中は旧県庁舎内をご見学いただけます。カフェ(10:00～16:30 L.O.16:00)もございますのでぜひご利用ください。

■アクセス

山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分
駐車場は文翔館の北側にございます。(無料・約40台)

※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
(割引サービスはございません。)

山形県郷土館



〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4番51号
指定管理者:公益財団法人山形県生涯学習文化財団
TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
URL <https://www.gakushubunka.jp/bunsyokan/>

